

**Merck Serono**

Living science, transforming lives

European Multidisciplinary Cancer Congress Abstract Number: 8607



## News Release

2011年10月7日

メルクセローノ株式会社

報道関係各位

### 頭頸部がん患者が必要とする優先順位やニーズが欧州での調査で明らかに

- 欧州の頭頸部がん学会、EHNS は頭頸部がん患者の調査データを発表し、世界の専門家に  
対し、患者教育や認知、支援の向上を要望
- EHNS はメルクセローノの支援を受け、頭頸部がんの患者の支援を強化

Merck KGaA（ドイツ・ダルムシュタット市、会長カール-ルドウィッグ・クライ）の医薬品部門であるメルクセローノは、9月26日、欧州の頭頸部がん学会であるEuropean Head and Neck Society（EHNS）と連携して医師による専門家委員会を招集し、個々の頭頸部がんの患者に合わせた情報や助言、優れた支援ネットワークを提供するための「行動を促す呼びかけ」（call-to-action）を発表しました。

この「行動を促す呼びかけ」は、欧州の頭頸部がん患者を対象に行われた「About Face 2」と呼ばれる調査結果に基づいており、European Multidisciplinary Cancer Congress 2011で発表されました。この調査は診断前から診断時、治療中、治療後まで、頭頸部がん患者が経験する病状の大きな節目ごとの状況を調査したもので、その結果、十分には対応されていない次のニーズが明らかになりました。<sup>1</sup>

- 早期診断を促進する頭頸部がん関連教育の改善
- 疾患と治療手段に関するわかりやすい情報
- 頭頸部がんと前向きに闘うための支援体制
- それぞれの症例に最適な治療手段を選択するためのガイド
- 患者が疾患による負担に耐えられるようにする広範なネットワークによる支援とカウンセリングの改善

「About Face 2」調査報告書の主著者で EHNS の理事長を務めるジャン-ルイ・ルフェーブル（Jean-Louis Lefebvre）教授は次のように述べています。「『About Face 2』から得られた情報は、医師にとって頭頸部がん患者さんをより早期に診断すると共に、この疾患とその治療に対する理解を高める機会となります。この取り組みを通じ、頭頸部がんによって失われる命を減らすことに貢献できると期待しています」

## News Release

この専門家委員会は「Senseless」サテライトシンポジウムの一環として行われました。シンポジウムではコミュニケーション上の障壁や、この疾患に伴う情緒面での課題を含め、頭頸部がん患者が経験する病状を再現した劇も上演されました。

メルクセローノ国際事業部門がん領域担当エグゼクティブ・ヴァイスプレジデントであるヴォルフガング・ヴァイン (Dr. Wolfgang Wein) は次のように述べています。「メルクセローノは頭頸部がん患者さんの生活の改善に取り組んでいます。メルクセローノは、EHNS とこの分野を率いる専門家の方々との提携を通じ、早期診断や適切なコミュニケーション、教育支援などを頭頸部がんの標準的治療に不可欠な要素として組み込むための画期的な一歩を踏み出しました」

### 記者向けの注釈

「About Face 2」について

「About Face 2」は欧州の 104 名の頭頸部がん患者（過半数は 50~70 歳の男性）を対象として行われた調査です。これは対面式の調査で、フランス、スウェーデン、スペイン、イタリア、ポルトガル、およびベルギーの 6 カ国で実施され、診断前、診断時、治療中、および治療後の経緯とその間の経験が調べられました。また回答者には、この疾患が与えた影響（理性的なものとの情緒的なものを対比）と生活の質（QOL）についての質問が行われました。この調査は European Pharmaceutical Market Research Association Code of Conduct に基づいて実施されました。

「Senseless」サテライトシンポジウムについて

「Senseless」サテライトシンポジウムでは頭頸部がん患者が経験する過程を再現した劇が上演され、続いて専門家を中心としたパネルディスカッションが行われました。このパネルには頭頸部がんの分野の専門家である EHNS 理事長のジャン-ルイ・ルフェーブル (Jean-Louis Lefebvre, MD) 教授、アントワープ大学病院のヤン・B・フェアモルケン (Jan B. Vermorcken, MD, PhD) 博士、ジュネーブ大学医学部のジャック・ベニア (Jacques Bernier, MD) 教授、およびがん領域心理療法士であるジョナサン・レイク (Jonathan Lake, MSc) 氏が参加しました。

### 参考文献

<sup>1</sup> Lefebvre JL, et al. European Multidisciplinary Cancer Congress 2011. Abstract No. 8607

European Multidisciplinary Cancer Congress 2011 での「Senseless」サテライトシンポジウムについては [www.globalcancernews.com](http://www.globalcancernews.com) をご覧ください。

## News Release

また、この「行動への呼びかけ」の詳細については EHNS のウェブサイト ([www.ehns.org](http://www.ehns.org)) をご覧ください。

### **European Head and Neck Society について**

European Head and Neck Society (EHNS) は2006年に公式に設立され、会員数は1,500名にのぼります。同学会は頭頸部腫瘍性疾患に関する知識の交換と共に、最高水準の研究や教育、トレーニング、また、疾患予防や患者ケアを促進することを目的としています。学際的機関で、臨床医（頭頸部/口腔/形成外科医、放射線治療医、腫瘍内科医、画像診断医、病理学者など）、その他の医療専門家（言語療法士、がん専門看護師、心理学者、理学療法士、栄養士、ソーシャルワーカーなど）、および頭頸部がんに関わる基礎研究者が集まっています。EHNSは2年に1度、European Conference on Head and Neck Oncology (ECHNO) を開催しています。

EHNSはベルギー国法に基づき国際的な非営利団体として登録されています。会員は頭頸部がんの研究や、トレーニング、治療に携わる欧州およびその他の地域の個人、各国および国際学会、ならびに研究グループです。詳細は [www.ehns.org](http://www.ehns.org) をご覧ください。

### **メルクセローノ株式会社について**

メルクの医療用医薬品部門とスイスSerono (セローノ) が2007年1月に統合され、メルクの医療用医薬品部門として新しく設立されたMerck Serono(メルクセローノ)事業部 (本社: スイス、ジュネーブ) の日本法人です。日本市場においては、同年10月1日より事業を開始しました。メルクセローノについての詳細は [www.merckserono.co.jp](http://www.merckserono.co.jp) をご覧ください。

### **Merckについて**

メルクはドイツのダルムシュタットに本社を置く、世界的な総合医化学メーカーで、2009年総売上高は約77億ユーロです。会社としての起源は1668年まで遡り、現在世界64ヶ国で事業を展開しており、グループ従業員総数は約40,000人（メルクミリポア事業部を含む）。グループの事業活動は Merck KGaAのもとで行われています。全株式の30%が市場で取り引きされており、残りの70%はメルクファミリーが合資会社を通じて保有しています。1917年、当時の米国子会社Merck & Co.の資産が接収された後、同社はメルクからは完全に独立しています。

#### **本件に関する問い合わせ先**

メルクセローノ株式会社  
癌領域事業部 PR  
小森真紀

Tel: 03-6853-8587、E-mail: [maki.komori@merckgroup.com](mailto:maki.komori@merckgroup.com)